

◎日本国の漁船のオーストラリアの港への寄港に
関する日本国政府とオーストラリア政府との間
の交換公文の延長に関する取極（口上書）

（略称）オーストラリアとの日本国漁船の寄港に関する取極の延長取極

昭和五十一年十二月十五日 キャンベラで
昭和五十一年十二月十五日 効力発生
昭和五十一年十二月十七日 告示

（外務省告示第 八四号）

目 次

ページ

オーストラリア側口上書..... 三七

千九百七十五年十一月二十七日付けの交換公文の延長..... 三七

日本側口上書..... 三八

オーストラリアとの日本国漁船の寄港に関する取極の延長取極

(オーストラリア外務省から在オーストラリア日本国大使館あての口上書)

(訳文)

口 上 書

外務省は、日本国大使館に敬意を表するとともに、ある種の日本国の漁船のオーストラリアの港への入港に関する千九百七十五年十一月二十七日付けの交換公文に関し、同交換公文に規定された取極が千九百七十七年一月三十一日まで引き続き適用されることがオーストラリア政府の了解であることを申し述べる光榮を有する。

外務省は、日本国大使館が、前記のことが日本国政府の了解でもあることを確認されれば幸いである。

外務省は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて日本国大使館に向かつて敬意を表する。

千九百七十六年十二月十五日にキャンベラで

(Australian Note Verdale)

The Department of Foreign Affairs presents its compliments to the Embassy of Japan and, with reference to the Exchange of Notes dated 27 November, 1975 concerning the entry of certain Japanese fishing vessels into Australian ports, has the honour to state that it is the understanding of the Government of Australia that the arrangements described in that Exchange of Notes shall continue to apply until 31 January 1977.

The Department would be grateful if the Embassy would confirm that the foregoing is also the understanding of the Government of Japan.

The Department avails itself of this opportunity to renew to the Embassy the assurance of its highest consideration.

Canberra, December 15, 1976

在オーストラリア日本国大使館からオーストラリア外務省あての口上書)

(訳文)

口 上 書

日本国大使館は、外務省に敬意を表するとともに、千九百七十六年十二月十五日付けの外務省の次の口上書第三一〇三・一〇・二・二号を受領したことを確認する光栄を有する。

(オーストラリア側口上書)

日本国大使館は、更に、前記のことが日本国政府の了解でもあることを日本国政府に代わつて確認する光栄を有する。
日本国大使館は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて外務省に向かつて敬意を表する。

千九百七十六年十二月十五日にキャンベラで

(参考)

この口上書は、日本国の漁船のオーストラリアの港への寄港に関する千九百七十五年十一月二十七日付けの交換公文に関し、同交換公文の取極が千九百七十七年一月三十一日まで引き続き適用されることにつき両国政府間の了解を確認したものである。

(Japanese Note Verbatim)

The Embassy of Japan presents its compliments to the Department of Foreign Affairs, and has the honour to acknowledge the receipt of latter's Note No.3103.10.2.2 dated December 15, 1976 which reads as follows:

"(Australian Note Verbatim)"

The Embassy has further the honour to confirm on behalf of the Government of Japan that the foregoing is also the understanding of the Government of Japan.

The Embassy avails itself of this opportunity to renew to the Department the assurance of its highest consideration.

Canberra, December 15, 1976